

## 施策評価調書(1)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

めざす姿	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進
施策関係課	(環境部)資源循環課・産業廃棄物対策課・収集業務課・戸塚環境センター・朝日環境センター・リサイクルプラザ・鳩ヶ谷衛生センター

●施策の基本方針(目標)
廃棄物の発生抑制や適正な処理、循環資源利用の促進により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減した循環型社会の形成を推進します。

●目標指標						
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:IV-3)			単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	41.6(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	40.000	42.400	40.700	42.400	0.000
指標②	名称	1人1日あたりの廃棄物排出量			単位	g／人・日
	目標値	784(令和7年度)	現状値	826(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	816.000	795.000	748.000	737.000	0.000
指標③	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					
指標④	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					
指標⑤	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	5,329,392	5,548,158	5,915,007	5,419,736	7,399,733
	概算人件費	1,277,700	1,368,222	1,262,673	1,380,189	1,355,551
	総事業費	6,607,092	6,916,380	7,177,680	6,799,925	8,755,284

\* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
		単位施策①	単位施策②	単位施策③	
B		52	55		結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
(前回評価結果)	単位施策④		単位施策⑤	結果(平均値)	
B				53.5	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度

令和6年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名	① 廃棄物の減量化・再資源化							
	事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	
不法投棄対策事業	環境部 収集業務課	30,941	42,557	74,409	69,833	83,926	52	現状維持で実施
		33,970	40,810	65,570	58,158	54,365		
廃棄物対策審議会経費	環境部 資源循環課	275	247	290	283	305	56	現状維持で実施
		3,397	3,234	4,266	3,807	2,407		
路上喫煙防止事業	環境部 資源循環課	43,615	62,924	68,544	64,838	64,928	54	現状維持で実施
		16,827	16,401	18,249	18,711	19,090		
廃棄物減量啓発事業	環境部 資源循環課	11,690	11,365	14,337	11,725	14,234	54	効率化して実施
		12,561	9,086	8,927	18,549	10,624		
事業系廃棄物対策事業	環境部 資源循環課	701	732	801	933	1,037	52	現状維持で実施
		20,935	22,099	21,251	21,789	22,410		
クリーン推進員事業	環境部 資源循環課	15,458	13,843	15,200	13,273	16,070	54	現状維持で実施
		4,898	3,465	2,765	1,863	5,146		
エコリサイクル推進事業所登録事業	環境部 資源循環課	141	36	0	0	10	34	現状維持で実施
		948	1,617	1,580	1,296	996		
一般ごみ収集運搬事業	環境部 収集業務課	925,258	925,258	920,789	1,024,346	1,271,250	52	現状維持で実施
		482,880	479,760	434,080	449,520	438,240		
粗大ごみ収集運搬事業	環境部 収集業務課	152,561	151,726	156,137	180,478	186,005	52	現状維持で実施
		3,950	3,850	3,950	4,050	4,150		
資源物回収事業	環境部 収集業務課	536,333	551,193	552,163	600,600	625,319	54	現状維持で実施
		355,000	453,400	362,400	461,781	449,860		
全市一斉クリーンタウン作戦事業	環境部 収集業務課	1,155	1,459	1,099	1,225	1,417	50	現状維持で実施
		4,582	7,700	7,900	8,100	9,960		
散乱防止及び環境美化促進事業	環境部 収集業務課	205	196	280	320	604	52	現状維持で実施
		7,584	924	948	972	7,470		
ごみ処理事業	環境部 収集業務課	1,359	2,110	1,792	1,683	2,508	52	現状維持で実施
		948	4,466	4,582	2,430	2,075		
環境啓発事業	環境部 リサイクルプラザ	2,315	2,993	1,939	2,408	2,580	56	現状維持で実施
		7,900	7,700	7,900	6,075	6,225		
リサイクルプラザ健康浴室等運営費	環境部 リサイクルプラザ	103,735	92,490	96,213	114,400	62,277	48	縮小して実施
		5,925	5,775	5,530	4,455	4,565		
再商品化委託事業	環境部 リサイクルプラザ	20,305	22,132	22,126	22,164	23,473	50	現状維持で実施
		2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		
資源物等選別事業	環境部 リサイクルプラザ	202,370	204,569	208,759	221,778	310,968	56	現状維持で実施
		22,515	21,945	22,515	23,085	23,655		
資源回収団体助成事業	環境部 リサイクルプラザ	107,788	103,793	95,584	91,583	90,900	56	現状維持で実施
		3,160	3,080	3,160	1,620	1,660		
3R推進活動等助成事業	環境部 リサイクルプラザ	67,349	66,776	65,955	65,711	67,457	54	現状維持で実施
		2,765	2,695	2,765	2,430	2,490		

単位施策名	② 廃棄物の適正処理の推進							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
産業廃棄物対策事業	環境部	2,865	3,677	2,820	2,828	5,520	58	現状維持で実施
	産業廃棄物対策課	37,525	42,735	45,267	51,759	43,243		
PCB廃棄物調査指導事業	環境部	12,471	3,146	1,075	340	363	58	現状維持で実施
	産業廃棄物対策課	22,120	15,785	14,378	8,181	10,707		
車両経費	環境部	44,392	50,263	57,987	63,431	139,859	54	現状維持で実施
	収集業務課	3,555	3,465	3,555	3,645	3,735		
小動物死体収集運搬事業	環境部	7,741	7,540	8,057	7,927	9,338	52	現状維持で実施
	収集業務課	6,320	1,540	1,580	1,620	1,660		
厚生会館施設管理費	環境部	15,042	15,740	19,537	18,069	22,140	50	現状維持で実施
	戸塚環境センター	1,975	1,925	1,975	2,430	2,490		
戸塚環境センタープラント運営費	環境部	909,049	986,474	1,120,208	1,132,686	1,233,556	54	現状維持で実施
	戸塚環境センター	136,354	133,749	136,196	139,806	142,926		
戸塚環境センターごみ処理事業	環境部	235,272	230,871	222,554	282,595	419,748	54	現状維持で実施
	戸塚環境センター	8,374	8,239	7,505	7,776	7,968		
朝日環境センターごみ処理事業	環境部	204,802	193,549	189,634	158,010	111,324	56	現状維持で実施
	朝日環境センター	3,950	3,850	3,950	4,050	4,150		
朝日環境センタープラント運営費	環境部	1,431,446	1,542,090	1,728,556	990,758	2,344,313	54	現状維持で実施
	朝日環境センター	18,170	17,710	18,170	18,630	19,090		
鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業	環境部	42,699	41,796	42,854	41,994	42,124	58	現状維持で実施
	鳩ヶ谷衛生センター	24,596	29,426	29,402	30,678	30,705		
し尿収集事業	環境部	15,014	14,707	14,267	13,974	14,228	52	現状維持で実施
	鳩ヶ谷衛生センター	6,557	6,237	6,399	6,561	7,055		
し尿処理施設管理費	環境部	185,045	201,906	211,041	219,543	231,952	54	現状維持で実施
	鳩ヶ谷衛生センター	15,089	13,244	13,588	13,932	13,944		

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	不法投棄対策事業				担当	環境部 収集業務課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例						

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託				
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	市の排出ルールが守られないごみ集積所に対し継続的に監視することにより不法投棄の減少を図るとともに、不法投棄物、ルール違反ごみについては市民生活環境保全上支障のないよう速やかに収集を行う。				不法投棄・ルール違反ごみをなくし、環境の改善及び保持する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	1 職員によるパトロール及び不法投棄物等の回収を実施した。 2 業務委託による不法投棄監視を実施した。 3 業務委託による不法投棄回収を実施した。 4 「川口市ごみ不法投棄監視ウィーク」において西川口駅頭にて啓発活動を実施した。				1 パトロールを222日実施し、延べ3,879箇所、116.60t回収した。 2 不法投棄監視を209日実施し、延べ191件指導した。 3 不法投棄回収を299日実施し、226.19t回収した。 4 585名啓発活動に参加し、啓発物を2,850個配布した。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	不法投棄・ルール違反ごみの通報件数が減少した。				ルール違反が顕著なごみ集積所において職員によるパトロールや定曜日以外の回収及び不法投棄回収委託により、迅速な対応を行い通報件数は減少しているが、不法投棄処理量は減少していない。		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	不法投棄処理件数(市民からの通報による)			指標・目標値の説明(算定式)	前年度処理実績の95パーセント		
	単位	件	指標の種別	結果				
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②		7,168.00	7,294.00		5,029.00	4,777.00	0.00	
	実績値・達成状況	7,678.00	未達成	5,294.00	達成	4,857.00	達成	
	名称	不法投棄処理量			指標・目標値の説明(算定式)	前年度処理実績の95パーセント		
指標②	単位	トン	指標の種別	結果				
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		220.48	284.89		285.51	271.23	0.00	
	実績値・達成状況	299.89	未達成	300.54	未達成	342.79	未達成	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	5 細目	3 細々目	不法投棄対策事業		
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)	43,916		75,430		78,975		83,926		83,926	
決算額(B)=(C)+(D)	42,557		74,409		69,833					
財源※	特定財源(C)		2,623	2,865		3,000	3,000			
	一般財源(D)		39,934	71,544		66,833	80,926			
	概算人件費(E)		40,810	65,570		58,158	54,365		54,365	
	従事職員人件費(人)	常勤	再任用	5.30	0.00	8.30	0.00	7.18	0.00	6.55
	総事業費【(A)又は(B)+(E)】		83,367	139,979		127,991	138,291		138,291	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閲与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	十分行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	ルール違反ごみを無くすことは非常に難しいため、周知啓発活動や指導と併せて不法投棄対策を行う必要がある。今後は監視や回収方法を見直し取り組む必要がある。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	廃棄物対策審議会経費				担当	環境部 資源循環課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 7 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営		
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
			廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項全般を審議し、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。		
			②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
当該年度の実施内容及び成果		<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会を3回開催</li> <li>・令和5年度ごみ処理実績及び川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について審議</li> </ul>			
		<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会を3回開催</li> <li>①令和6年7月23日、②11月20日、③令和7年2月13日</li> <li>・審議会出席者数</li> <li>①27人[審議委員:14人/事務局13人]、②24人[審議委員:14人/事務局10人]、③24人[審議委員:13人/事務局11人]</li> <li>・議題について審議し、承認を得た</li> </ul>			
		<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度のごみ処理実績を報告</li> <li>・川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正により、特定処理廃棄物に係る処理手数料適正化の実現</li> </ul>			
		<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正に関して、公平な受益者負担の観点から特定処理廃棄物に係る廃棄物処理手数料を見直しについて審議することができた。今後も受益者負担の適正化に基づき、手数料の見直しに努める。</p>			

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	1人1日当たりごみ排出量(集団資源回収含む)		指標・目標値の説明(算定式)	排出量(集団資源回収を含む) ÷ 人口 ÷ 365日 (第7次川口市一般廃棄物処理基本計画)		
	単位	g／人・日	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
		802.00	796.00		790.00	784.00	778.00
	実績値・達成状況	795.00	達成		748.00	達成	
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)			
	単位		指標の種別				
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況						

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	2 目	3 細目	1 細々目	廃棄物対策審議会経費		
年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度
予算額(A)	305			305			305			305
決算額(B)=(C)+(D)	247			290			283			
財源※	特定財源(C)			0	0	0	0	0		
一般財源(D)	247			290	283	305	305			
概算人件費(E)	3,234			4,266	3,807	2,407	2,407	2,407		
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.42	0.00	0.54	0.00	0.47	0.00	0.29	0.00
総事業費[(A)+(B)+(E)]	3,481			4,556	4,090	2,712	2,712	2,712		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	令和5年度ごみ処理実績及び令和6年度は川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について審議した。今後も、一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項や施策等について、委員の意見を聴く重要な会議であることから継続して開催する。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	路上喫煙防止事業				担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 17 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化						
根拠法令等	川口市路上喫煙の防止等に関する条例						

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託			
	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)				
	健康増進法の整備等により、受動喫煙に対する市民の意識が高まっていることから、道路等における喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図り、安全で快適な歩行空間及び清潔な地域環境を確保することを目的とする。				路上喫煙禁止地区内の路上等における分煙化、禁止地区内外における路上喫煙者の減少、環境美化意識の向上により、非喫煙者と喫煙者がお互いに配慮できる分煙環境の実現を目指すもの。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)				
	・川口駅西口タクシー乗り場前指定喫煙所の改修 ・禁止地区巡回パトロール兼環境美化業務 ・禁止地区を示す路面シール、横断幕、電柱看板の設置 ・環境部広報紙及び市内掲示板による啓発 ・市内全駅における路上喫煙禁止地区啓発及び路上喫煙防 止駅頭キャンペーンの実施		・禁止地区巡回パトロールを正月三が日を除く毎日、灰皿清掃を毎日実施 ・禁止地区路面シールを川口駅周辺に105枚設置、横断幕を川口駅、川口元郷駅、南鳩ヶ谷駅に各1枚ずつ設置、電柱看板を西川口駅周辺に9基設置 ・駅頭キャンペーンを、11月4日～14日の平日朝の通勤時間帯に実施				
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題				
	・川口駅西口タクシー乗り場前指定喫煙所に対する苦情の減少 ・パトロール員による指導件数の減少(前年度指導実績の81%)		指定喫煙所をパーテーション型に改修した結果、副流煙流出の抑制、喫煙所利用者のマナー向上及び当該喫煙所に対する市民からの苦情減少に繋がり、分煙環境の改善に大きく寄与した。パトロール員による指導件数は減少しているが、禁止地区内外を問わず路上喫煙者に対する市民からの苦情が見受けられるため、今後も継続的に啓発活動を実施する。				

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	1駅当たりの喫煙者指導件数		指標・目標値の説明(算定式)	前年度指導実績の90%(小数点以下切上げ)				
	単位	人	指標の種別		結果				
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		506.00			525.00	596.00	423.00	432.00	
指標②	名称								
	単位	人	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況	583.00	未達成		532.00	未達成	470.00	達成	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	2 目	4 細目	1 細々目	路上喫煙防止事業
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		64,590	68,617		68,779		64,928	
決算額(B)=(C)+(D)		62,924	68,544		64,838			
財源※	特定財源(C)	0	0		0		1,030	
	一般財源(D)	62,924	68,544		64,838		63,898	
概算人件費(E)		16,401	18,249		18,711		19,090	
従事職員人件費(人)	常勤	2.13	0.00	2.31	0.00	2.31	0.00	2.30
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		79,325	86,793		83,549		84,018	
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。								

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
54 /60	指定喫煙所の改修による分煙環境の改善は見受けられるが、禁止地区内外を問わず市民からの苦情が絶えないため、啓発事業に今後も取り組む。令和7年度に実施予定の川口駅西口デッキ上指定喫煙所の改修工事をもって、市内全駅の喫煙所整備が完了するため、令和8年度以降は啓発事業に重点を置き、更なる分煙環境の整備を目指す。		現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	廃棄物減量啓発事業			担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化								
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
ごみの減量やリサイクルの推進のため、市民及び事業者に対して、ごみの分け方・出し方等の周知や3Rに関する啓発等を行うもの。			市民の意識向上を図り、ごみの減量やリサイクルの推進を目指すもの。
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
広報紙による周知啓発、環境関連施設見学会の実施、各種教室・イベント等の実施、施設見学会の実施、各種印刷物の作成			環境部広報紙PRESS530年3回発行、環境関連施設見学年1回実施、出張講座年4回実施、パネル展示年3回実施、体験教室年1回実施、フードドライブ年6回実施、各種印刷物13種80万部以上作成、WEBページによる周知啓発年間160万回アクセス
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
1人1日あたりのごみ排出量が前年度の748gから737gに減少した。			事業の効率的な実施に努めつつ、転出入に伴う人口の流動、単身世帯や外国人の増加といった課題に対応する必要がある。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	1人1日あたりのごみ排出量		指標・目標値の説明(算定式)	第7次川口市一般廃棄物処理基本計画に定めている中間目標値				
	単位	グラム	指標の種別		結果				
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	
		790.00			790.00		790.00	790.00	
指標②	名称	家庭ごみ収集日情報メール配信登録者数		指標・目標値の説明(算定式)	前年度の数値に600人(50人×12ヶ月)の数値を足したもの				
	単位	人	指標の種別		結果				
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	
		6,636.00			7,274.00		7,770.00	8,370.00	
実績値・達成状況		6,674.00	達成	7,170.00		未達成	7,697.00	未達成	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	2 目	5 細目	1 細々目	廃棄物減量啓発事業
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)	13,106			15,886	11,952	14,234	26,003	
決算額(B)=(C)+(D)	11,365			14,337	11,725			
財源※	特定財源(C)			0	0	0	0	
	一般財源(D)			11,365	14,337	11,725	14,234	
	概算人件費(E)			9,086	8,927	18,549	10,624	10,624
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.18	0.00	1.13	0.00	2.29	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	20,451			23,264	30,274	24,858	36,627	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	時代の要請と市民の利便性、本市の清掃行政体制を鑑みながら、タイムリーで実施効果の高い周知啓発の展開を図り、円滑な清掃行政の推進を図る。	翌年度	効率化して実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	事業系廃棄物対策事業				担当	環境部 資源循環課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 47 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例						

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
事業者に対し、廃棄物の適正処理に関する啓発、指導及び廃棄物の発生抑制、再生利用の促進等の啓発を行う。			生活環境の保全、公衆衛生の向上及び循環型社会の構築を推進する。もって市民の健康で快適な生活を確保する。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
・川口駅及び西川口駅周辺の飲食店に対し、保健部、上下水道事業部と合同で廃棄物の適正処理に関する啓発指導を実施した。 ・市内掲示板にて適正処理の啓発を行った。 ・再生利用の促進及び適正処理を促すため、様々な方法を用いて市内事業者にリーフレットの配布を行った。			廃棄物の適正処理に関する啓発指導を400事業所以上に対し実施した。 ・再生利用の促進及び適正処理を周知するため5,000部以上のリーフレットを配布を行った。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
事業系廃棄物の適正処理及び再生利用の促進に関する周知が図られた。			不適正処理を行っている事業者も散見されるが、実施した施策により改善傾向にある。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市内事業者に対する訪問啓発指導増減数		指標・目標値の説明(算定式)	定常業務における市内事業者啓発指導に係る訪問総件数の増加を次年度の目標値とする。			
	単位	回	指標の種別		活動			
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況	0.00			0.00	0.00	270.00	275.00
	名称							
	単位	指標の種別						
指標②	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	2 項	2 目	5 細目	4 細々目	事業系廃棄物対策事業		
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			871		987		1,066		1,037		
決算額(B)=(C)+(D)			732		801		933		902		
財源※	特定財源(C)		26		184		80		184		
	一般財源(D)		706		617		853		853		
概算人件費(E)			22,099		21,251		21,789		22,410		
従事職員人件費(人) 常勤 再任用			2.87	0.00	2.69	0.00	2.69	0.00	2.70		
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			22,831		22,052		22,722		23,447		
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。											

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価	
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15	
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない		
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正		
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15		受益者の資格条件	適正	13 /15	
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正		
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った		

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	市内事業者に対し、事業系一般廃棄物を適正に処理させることが課題である。そこで、これまで同様に廃棄物の適正処理に関する啓発指導及び再生利用の促進等を行いつつ、適正に処理を行っていない事業者に対する訪問指導業務の強化を図っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	クリーン推進員事業				担当	環境部 資源循環課
事業区分	通常事業	-		問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続 継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 7 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、川口市クリーン推進員表彰内規					

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
一般廃棄物の適正な処理及びごみの減量等に熱意と識見を有する者を川口市クリーン推進員として委嘱し、ごみの減量及び資源化について、行政と市民をつなぐリーダーとして活動してもらうもの。			地域においてごみの減量や資源化に取り組むことを通じて、資源循環型社会の形成を目指すもの。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
クリーン推進員に対して研修会や講習会を実施し、知見を深めていただくとともに、各推進員が行った活動に関する報告書の提出を受けた。			研修会や講習会で得た知見等を生かし、各推進員が地域において環境の保全や美化に関する活動を実施した。また、各推進員から提出された報告書の内容を家庭ごみの分け方・出し方の啓発等に反映した。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
まちがきれいになるだけでなく、地域社会全体の環境改善がもたらされた。			ごみ対策に関する市民のニーズは年々高くなっています。各推進員から提出された報告書には、外国人や町会・自治会に加入していない市民に関する要望等が多くみられます。こうした内容を踏まえつつ、引き続き事業を継続する。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	講習会	指標・目標値の説明(算定式)	廃棄物の減量及び施策への協力に必要な知識やスキルの向上のため年1回以上実施するもの。		
	単位	回				
	目標値	令和4年度				
指標②	名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	単位	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	
指標②	名称	プロック別研修会	指標・目標値の説明(算定式)	市内を10のブロックに分け、活動に密接な研修会を行う。令和2、4年度は、コロナウイルス感染防止の観点から、紙面研修を実施した。		
	単位	回				
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
指標②	名称	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	単位	0.00	未達成	1.00	達成	
	実績値・達成状況	0.00	未達成	1.00	達成	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	2 目	5 細目	3 細々目	クリーン推進員事業		
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)		14,773	16,777		14,836		16,070			
決算額(B)=(C)+(D)		13,843	15,200		13,273		16,070			
財源※	特定財源(C)	0	1.00	0	0	0	0	0		
	一般財源(D)	13,843		15,200		13,273				
概算人件費(E)		3,465	2,765		1,863		5,146			
従事職員人件費(人)	常勤	0.45	0.00	0.35	0.00	0.23	0.00	0.62	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		17,308	17,965		15,136		21,216		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	ごみ対策に対する市民のニーズは年々高くなっています。クリーン推進員の報告書には、外国人や町会・自治会非会員に関するものなど、他課にまたがる要望等が多くみられます。今後は関係各課と連携を図りながら効率的で効果的な運営を行います。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	エコリサイクル推進事業所登録事業				担当	環境部 資源循環課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5370	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 7 年度	~	年度			
第5次川口市総合計画	IV	都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化				
根拠法令等	川口市エコリサイクル推進事業所登録実施要綱					

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
環境保全への取組みを行っている店舗等を川口市エコリサイクル推進事業所として登録することにより、地域に貢献する企業市民として評価し、循環型社会の形成に寄与するもの。			ごみ減量やリサイクル活動、地球温暖化対策に積極的な登録事業所の姿勢を市民に対し周知することを通じて、循環型社会の形成を目指すもの。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
市ホームページ等においてエコリサイクル推進事業所について市民に周知するとともに、当該事業所の利用を呼び掛けた。また、各推進事業者から状況報告書の提出を受けた。			登録事業者数:131
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
報告書の作成・提出等を通じて、推進事業者の環境保全に関する意識の向上につながった。			本事業は、容器包装リサイクル法の制定等を背景に、3R推進のために開始されたものであるが、現在では3Rの取組みについて概ね浸透しており、見える形での成果が乏しい状況である。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	登録者数		指標・目標値の説明(算定式)	現状維持		
	単位	事業所	指標の種別				
目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
		0.00		138.00	138.00	138.00	0.00
指標②	名称	市产品フェアでの登録事業所の周知活動		指標・目標値の説明(算定式)	川口市市产品フェア等のイベントにて事業者、来場者等に対し登録事業所の周知活動を行う。(1回／年)		
	単位	回	指標の種別				
目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
		1.00		1.00	1.00	1.00	0.00
実績値・達成状況	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	1.00	達成

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	2 目	2 細目	2 細々目	エコリサイクル推進事業所登録事業
年度		令和4年度			令和5年度		令和6年度	
予算額(A)			75	50		10	10	
決算額(B)=(C)+(D)			36	0		0	0	
財源※	特定財源(C)		0	0		0	0	
	一般財源(D)		36	0		0	10	
概算人件費(E)			1,617	1,580		1,296	996	
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.21	0.00	0.20	0.00	0.12	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			1,653	1,580		1,296	1,006	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	7 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込めない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	5 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
34 /60	市としてSDGsを推進すべく、川口SDGsパートナー制度が開始されたことを踏まえ、環境保全に取り組む事業所の裾野をさらに広げる観点から、今後は本事業を当該制度に統合させる方針とする。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	他事業に統合されて実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	一般ごみ収集運搬事業			担当	環境部 収集業務課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続 継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV	都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画				

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
家庭系一般ごみを適正に収集することにより、地域の清潔を保持し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上をはかり、市民の健康で快適な生活を確保する。			一般ごみの減量化・再資源化・適正処理
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
当該年度の実施内容及び成果	直営職員・車両による収集業務 市内組合等への収集業務委託	市民が排出する家庭系の一般ごみを、15540箇所のステーションより、207日間、収集車両により収集し中間処理施設へ運搬した。	
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
地域の清潔を保持し、市民の健康で快適な生活を確保した。			より効率的な収集運搬を行えるようシステム等の見直しを行った。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	目標値								令和7年度	
実績値・達成状況									令和8年度	
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	目標値								令和7年度	
実績値・達成状況									令和8年度	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	4 細目	1 細々目	一般ごみ収集運搬事業	
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		925,390	920,922		1,024,347		1,271,250		1,271,250
決算額(B)=(C)+(D)		925,258	920,789		1,024,346		1,271,250		1,271,250
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0		0
	一般財源(D)	925,258	920,789		1,024,346		1,271,250		1,271,250
概算人件費(E)		479,760	434,080		449,520		438,240		438,240
従事職員人件費(人)	常勤	60.00	4.80	51.20	8.00	52.80	5.60	52.80	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		1,405,018	1,354,869		1,473,866		1,709,490		1,709,490

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	収集業務は、通常収集のほか、朝日環境センター火災に伴う市外搬出、年末の一部地域での増車対応を実施した。今後、退職制度の改正による現業職員数の変動を見極め、直営と委託の比率の見直しなどを検討し、確実な収集が実施できるよう計画する。また、事故防止に係る事業を継続していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	粗大ごみ収集運搬事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化								
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画								

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち義務的なもの			実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	家庭から排出される粗大ごみを収集することにより、粗大ごみの適正な処理やリサイクルを促進し快適な生活を確保する。				一般ごみの減量化・再資源化・適正処理	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	粗大ごみ戸別収集の予約受付 市内組合への収集業務委託				市民が排出する家庭系の粗大ごみを、243日間、戸別収集を行い、収集車両により収集し中間処理施設へ運搬した。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	粗大ごみの適正な処理やリサイクルを促進し快適な生活を確保した。				より効率的な予約受付、収集運搬を行えるようシステム等の見直しを行った。	

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
指標②	実績値・達成状況				令和7年度		令和8年度	
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
指標②	実績値・達成状況				令和7年度		令和8年度	

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	4 細目	2 細々目	粗大ごみ収集運搬事業	
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		154,880	157,336		180,480		186,005		186,005
決算額(B)=(C)+(D)		151,726	156,137		180,478				
財源※	特定財源(C)		81,014	87,100		93,473	102,400		
	一般財源(D)		70,712	69,037		87,005	83,605		
概算人件費(E)		3,850	3,950		4,050	4,150		4,150	
従事職員人件費(人)		常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		155,576	160,087		184,528		190,155		190,155

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価	
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり		13 /15	
	市閥与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった			
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容	適正			
効率性	コストに対する成果		どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正		13 /15	
	業務プロセス改善		検討した			受益者負担の水準	適正			
	民間活用		行った・既に行った			対象者への周知	行った			

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性			
52 /60	当事業が継続的・効率的に実施できるよう調査研究を行う必要がある。また、個人情報を取り扱っていることから、さらなる管理の強化に努める。 なお、粗大ごみ収集手数料については、収集運搬に係る費用と市民の応益負担を視野に入れながら、調査研究する必要がある。				翌年度	現状維持で実施		

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	資源物回収事業				担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-251-1174	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画						

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの			実施形態	一部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)						
	家庭系一般廃棄物のうち資源物を適正に回収し、生活環境の保全及びリサイクル意識の向上をはかり、市民の健康で快適な生活を確保する。			資源物の減量化・再資源化・適正処理						
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)						
	直営職員・車両による回収業務 市内組合等への回収業務委託			市民が排出する家庭系の資源物を、8897箇所のステーションより、237日間、収集車両により収集し中間処理施設へ運搬した。						
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題						
	市民の健康で快適な生活を確保し、資源物のリサイクル推進を行った。			より効率的な回収を行えるようシステム等の見直しを行った。						

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度		
指標②	実績値・達成状況									
	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位									
指標②	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況									

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	4 細目	4 細々目	資源物回収事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			553,299	555,368			600,601	625,319				
決算額(B)=(C)+(D)			551,193	552,163			600,600					
財源※	特定財源(C)		0	0		0	0					
	一般財源(D)		551,193	552,163		600,600	625,319					
概算人件費(E)			453,400	362,400		461,781	449,860		449,860			
従事職員人件費(人) 常勤 再任用			56.00	7.20	54.80	6.00	54.20	5.40	54.20	0.00		
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			1,004,593	914,563		1,062,381	1,075,179		1,075,179			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	
	市関与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	
	業務プロセス改善		行った・既に行った			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行った			対象者への周知		行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性			
54 /60	資源物集積所が増加しているため、効率的に回収を行う必要が生じ、適正な人員配置及び配車を行っている。今後も集積所の増加に伴う業務量の増加が懸念されることから、より効果的な収集体制等を検討し実施していく。また資源物の盗難監視については、警備会社、地元警察署と連携をとりながら盗難防止を継続する。				翌年度	現状維持で実施		

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	全市一斉クリーンタウン作戦事業				担当	環境部 収集業務課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市飲料容器等の散乱の防止に関する条例					

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
市民と市が協力して、全市一斉に清掃活動を実施することにより、ポイ捨てをしない、させない環境を目指し、清潔できいいな街をつくり、もって快適な都市環境を確保することを目的とする。			市民による地域環境の清潔保持の習慣化及びごみのポイ捨ての撲滅。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
全市一斉クリーンタウン作戦を実施。			令和6年11月17日実施。13,150人参加。12,860kg回収。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
参加した市民に対し地域環境の美化に対する意識を高めることができた。			市民による地域環境の清潔保持の習慣化させる動機を持たせることに成功したが、ポイ捨て撲滅に至っていない。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	全市一斉クリーンタウン作戦参加人数		指標・目標値の説明(算定式)	市内各町会・自治会加入世帯数(「広報かわぐち」配布部数による)の約2割			
	単位	人	指標の種別		結果			
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
		39,310.00			38,890.00		38,820.00	
指標②	実績値・達成状況	14,020.00			未達成		0.00	
	名称							
	単位				指標・目標値の説明(算定式)			
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
指標②	実績値・達成状況							

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	5 細目	1 細々目	全市一斉クリーンタウン作戦事業
年度		令和4年度			令和5年度		令和6年度	
予算額(A)			1,488	1,180		1,261	1,417	
決算額(B)=(C)+(D)			1,459	1,099		1,225	1,417	
財源※			特定財源(C)	0		0	0	
			一般財源(D)	1,459		1,099	1,225	
			概算人件費(E)	7,700		7,900	8,100	
			従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00
						0.00	1.20	0.00
			総事業費[(A)又は(B)+(E)]	9,159		8,999	9,325	
							11,377	
							11,377	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15	効率性	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない			
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正			
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正			
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正			
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った			

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性			
50 /60	これまで市広報紙・ポスター・キャスティビジョン・きらり川口情報メール・ホームページなどによりPRを行ってきた。今後もコミュニティビジョン(第一本庁舎2階・3階)の活用などPR方法について工夫し、より多くの市民が参加することを目指す。				翌年度	現状維持で実施		
					翌々年度	現状維持で実施		

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	散乱防止及び環境美化促進事業				担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度	~	年度								
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化										
根拠法令等	川口市飲料容器等の散乱の防止に関する条例										

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	清潔で快適な街をつくり、快適な都市環境を確保するため、川口市まち美化促進プログラムに登録する美化活動者の活動を支援する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	1 市と協定を取り交わし済みの団体が、自主的に地域清掃活動を実施した。 2 市は団体からの要請により、発生した廃棄物を回収・処理するとともに、清掃用具の給付、ボランティア保険への加入によって団体に協力した。		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	1 令和6年度は170回の自主的な清掃活動が行われた。 2 100件の回収依頼があり、実施した。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	清掃活動が行われている箇所では、清潔で快適な空間が確保されている。		
	④~⑥を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	市と協定を取り交わす団体を増やすことにより、清掃される道路・歩道が増えることから、協力団体を増やす取り組みを続けていく。		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	環境美化活動団体数		指標・目標値の説明(算定式)	市内10地区に対し各4団体ずつとして設定			
	単位	団体	指標の種別		結果			
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		40.00		40.00	40.00	40.00	0.00	
	実績値・達成状況	18.00	未達成	19.00	未達成	21.00	未達成	
指標②	名称							
	単位			指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	4 目	5 細目	2 細々目	散乱防止及び環境美化促進事業		
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)	378			443			471			
決算額(B)=(C)+(D)	196			280			320			
財源※	特定財源(C)			0			0			
	一般財源(D)			196			280			
	概算人件費(E)			924			972			
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.12	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00		
総事業費【(A)又は(B)+(E)】	1,120			1,228			1,292			
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。							8,074			
							8,074			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	13 /15
	市関与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	13 /15
	業務プロセス改善		行った・既に行った			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行った			対象者への周知		行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
52 /60	団体構成要件等の見直しの効果は断定できないが、今年度は2団体の増があった。今後も加入団体増を目指し、事業の周知に努めていく。					翌年度	現状維持で実施	翌々年度

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	ごみ処理事業				担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	446-7525	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12 年度	～		年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化								
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定家庭用機器再商品化法、使用済自動車の再資源化等に関する法律								

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの			実施形態	全部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)									
	不法投棄された特定家庭用機器及びタイヤ・消火器・車部品などの廃棄物を収集し、特定家庭用機器再商品化法対象家電等のリサイクルに配慮するなど、適性に処理する。									
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)						
	1 「家電リサイクル法」対象の家庭用機器の処理 2 「自動車リサイクル法」対象の自動二輪等の処理 3 自動車部品及びタイヤ、廃金属、消火器等処理困難物の処理			1 「家電リサイクル法」対象機器4.9トンを処理した。 2 「自動車リサイクル法」対象の自動二輪等は回収無し。 3 タイヤ63本、廃金属等産業廃棄物1730kg、消火器59本を処理した。						
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題						
	回収された不法投棄物を処理することにより、市の廃棄物処理施設の空間的余裕を確保し、市による不法投棄物の回収業務を円滑に実施できるようにした。			少量ではあるが、処理しきれない回収物があり、その処理方法を検討して処分する必要がある。						

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況								

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	6 細目	1 細々目	ごみ処理事業	
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
予算額(A)		2,367		2,333		2,246		2,508	2,508
決算額(B)=(C)+(D)		2,110		1,792		1,683			
財源※	特定財源(C)	108		110		110		553	
	一般財源(D)	2,002		1,682		1,573		1,955	
	概算人件費(E)	4,466		4,582		2,430		2,075	2,075
従事職員人件費(人)	常勤	0.58	0.00	0.58	0.00	0.30	0.00	0.25	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		6,576		6,374		4,113		4,583	4,583

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	処理しきれない回収物について対応可能な業者の選定を進め、より円滑な不法投棄回収業務実施を目指していく。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	環境啓発事業				担当	環境部 リサイクルプラザ
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度	~	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条					

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
施設利用者に、資源循環型社会の実現のための情報提供等を行い、ごみ減量やリサイクルの推進を図る。			資源循環型社会の実現
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者に施設見学を実施</li> <li>・市民に無償リサイクル品橋渡しコーナーを実施</li> <li>・施設利用者にリサイクル家具類販売を開催</li> <li>・施設利用者におもちゃの病院を開催</li> <li>・施設利用者にリサイクル工作展、啓発ビデオ上映等を実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学参加者 1,006人</li> <li>無償リサイクル品橋渡しコーナー利用者 41,787人</li> <li>リサイクル家具類販売入札者 1,063人</li> <li>おもちゃの病院利用者 1,323人</li> </ul>
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別に対する意識の向上</li> <li>・ごみ減量化に対する意識の向上</li> </ul>			施設利用者へのごみ減量とリサイクルの推進を図ることはできたが、市全体での資源循環型社会の実現はできていない。よって、更なる施設利用者数の増加が必要である。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	無償リサイクル品橋渡しコーナー来場者数	指標・目標値の説明(算定式)	リサイクルプラザ3階のリサイクルショップに来場し、品物を持ち帰った人の数、(1日1人1回1点持ち帰り)の年間合計。目標値は平成27年度実績による。			
	単位	人	指標の種別	結果			
目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	28,700.00		28,700.00	28,700.00		28,700.00	0.00
実績値・達成状況	28,852.00	達成	28,471.00	未達成	33,142.00	達成	
指標②	名称	リサイクル家具類販売入札者数	指標・目標値の説明(算定式)	リサイクル家具類販売の入札人数の年間合計。毎月第3土曜日から第4日曜日に実施。目標値は70人×12回。			
	単位	人	指標の種別	結果			
目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	840.00		840.00	840.00		840.00	0.00
実績値・達成状況	1,017.00	達成	817.00	未達成	1,063.00	達成	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	2 項	8 目	3 細目	1 細々目	環境啓発事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			3,353	2,628	2,896	2,580	2,580		
決算額(B)=(C)+(D)			2,993	1,939	2,408				
財源※	特定財源(C)		1,001	755	864	800			
	一般財源(D)		1,992	1,184	1,544	1,780			
概算人件費(E)			7,700	7,900	6,075	6,225	8,300		
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00	1.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			10,693	9,839	8,483	8,805	10,880		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	循環型社会の実現、地球温暖化防止などを啓発すべく、関連イベントを継続的に実施するのはもちろんのこと、これらのPRを一層拡充するため、環境総務課や資源循環課と連携し、更なる施設利用者の増加を図ってゆく。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	リサイクルプラザ健康浴室等運営費				担当	環境部 リサイクルプラザ
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度	~	年度			
第5次川口市総合計画	IV	都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3	廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-①	廃棄物の減量化・再資源化		
根拠法令等						

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
朝日環境センター余熱利用施設「サンアール朝日」の運営を通して、周辺地域住民を中心とした市民に対し、ごみ焼却処理施設からの地域還元を行う。			周辺地域住民を中心とした市民に対し、心身の健康増進、ふれあい交流の場を提供する。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
サンアール朝日の営業(213日) 施設/設備の修繕(17件) 濾過機等設備点検(年4回) 各種設備機器のメンテナンス(常時)ほか			年間利用者数36,627人 年間収入金額14,986,590円
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
利用者は前年度と比較して6,498人増加した。			コロナ禍以降、利用者数は回復傾向にある。ごみ焼却処理施設や余熱利用施設の設備故障の影響で長期休館を余儀なくされることが度々あり、設備老朽化が課題である。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間利用者数	年間利用者数(リサイクルプラザ)	指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の集計結果。			
	単位	人	指標の種別		利用券販売数と回数券利用者数の合計。			
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	目標値	100,000.00			70,000.00	70,000.00	0.00	
	実績値・達成状況	25,130.00			30,129.00	未達成	36,627.00	
	名称	年間使用料金			利用券販売額(1年度の合計)			
指標②	単位	千円	指標の種別	結果				
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値	38,097.00			30,000.00	30,000.00	0.00	
実績値・達成状況			9,798.38	未達成	12,146.20	未達成	14,987.00	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

	予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	8 目	4 細目	1 細々目	リサイクルプラザ健康浴室等運営費
	年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度
	予算額(A)	93,429			96,252			114,970
	決算額(B)=(C)+(D)	92,490			96,213			114,400
財源※	特定財源(C)	11,804			37,273			34,346
	一般財源(D)	80,686			58,940			80,054
	概算人件費(E)	5,775			5,530			4,455
	従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.75	0.00	0.70	0.00	0.55
	総事業費[(A)又は(B)+(E)]	98,265			101,743			118,855
								66,842
								121,155

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	低かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
48 /60	オープンから20年以上が経過し、設備等の経年劣化による故障が多発しているため、サービスの提供が滞らないよう、予防的な修繕や改修等を含め維持管理を徹底していく。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	拡充して実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	再商品化委託事業				担当	環境部 リサイクルプラザ
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化			
根拠法令等	容器包装リサイクル法(容り法)			

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	環境への負荷を低減させる循環型社会を形成するため、国、地方公共団体、事業者及び国民の適切な役割分担のもと、廃棄物発生の抑制及び廃棄物の再利用を促進する必要があることから。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか) カレット残渣、プラスチック製容器包装について中間処理の後、事業者に引き渡し、再商品化を行った。		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績) 再商品化事業者によって別な商品に生まれ変わり、廃棄物抑制と資源の有効活用ができた。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか) 資源ごとの再商品化や再利用を行うことにより、廃棄物発生の抑制ができ、資源の有効活用も可能となった。		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題 滞りなく業務は遂行できている。より効率の高い再商品化のため、中間処理の精度及び排出者への適切な捨て方の周知が課題である。		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	カレット残渣の発生抑制		指標・目標値の説明(算定式)	カレット残渣量(トン) ÷ びん搬入量(トン) = カレット残渣率(%)					
	単位	%	指標の種別		成果		令和4年度			
	目標値	33.33			33.33		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況	27.50	達成		29.45	達成	33.30	33.30	0.00	
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位				令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況									

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	2 項	8 目	6 細目	1 細々目	再商品化委託事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			22,540		23,106		22,620		23,473
決算額(B)=(C)+(D)			22,132		22,126		22,164		23,473
財源※	特定財源(C)		22,132		22,126		22,164		23,473
	一般財源(D)		0		0		0		0
	概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			24,442		24,496		24,594		25,963
									25,963

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込めない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
50 /60	資源の再商品化にあたり、老朽化のため機械による選別では、以前のような精度が保てなくなっているため、びんの選別について、機器費の削減を見込める手選別を行うための工事を発注し、今後の歳出の削減及び選別精度を上げることができると期待している。		現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	資源物等選別事業				担当	環境部 リサイクルプラザ
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化			
根拠法令等	容器包装リサイクル法(容り法)			

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	二酸化炭素の増加に伴う地球温暖化などの環境汚染が世界的な問題となっている中、国民1人1人が廃棄物に対する意識を高め、省資源、省エネルギーの視点で取り組む必要があることから。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <p>・飲料かん、びん、ペットボトル、紙類、金属類、プラスチック製容器包装の中間処理 ・繊維類の一時保管</p>		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <p>再商品事業者に引渡しを行い、廃棄物の発生の抑制ができた ・売却できるものは市の歳入にできた。</p>		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>再商品化や再利用により資源物の有効活用や廃棄物を減らすことができた。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>滞りなく業務は遂行できているが、唯一の資源化施設であるので、不意の事故で停止することのない体制をとることが課題である。</p>		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	飲料かんリサイクル率の向上	指標・目標値の説明(算定式)	売却量(kg) ÷ 飲料かん搬入量(kg) = リサイクル率(%)				
	単位	%		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	82.00		82.00	82.00	82.00	82.00	0.00
	実績値・達成状況	82.87	達成	82.83	達成	83.06	達成	
指標②	名称	ペットボトルリサイクル率の向上	指標・目標値の説明(算定式)	売却、引渡量(kg) ÷ ペットボトル搬入量(kg) = リサイクル率(%)				
	単位	%		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	85.00		85.00	85.00	85.00	85.00	0.00
	実績値・達成状況	83.41	未達成	85.74	達成	83.09	未達成	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

	予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	8 目	6 細目	2 細々目	資源物等選別事業
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	予算額(A)	206,864	211,004	223,473	310,968	310,968		
	決算額(B)=(C)+(D)	204,569	208,759	221,778				
財源※	特定財源(C)	204,569	208,759	221,778	310,968			
	一般財源(D)	0	0	0	0			
	概算人件費(E)	21,945	22,515	23,085	23,655	23,655		
	従事職員人件費(人) 常勤 再任用	2.85 0.00	2.85 0.00	2.85 0.00	2.85 0.00	2.85 0.00		
	総事業費[(A)又は(B)+(E)]	226,514	231,274	244,863	334,623	334,623		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	ペットボトルは、資源物の価値を上げるために、中身の飲料やキャップ、ラベルを取り除く必要があるため、市民への周知を図るべくプレス530への掲載、施設見学者への呼びかけを継続的に実施する。並行して老朽化した機械の更新計画を進める。	翌年度 現状維持で実施
		翌々年度 現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	資源回収団体助成事業				担当	環境部 リサイクルプラザ
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 53 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市集団資源回収団体助成金交付要綱					

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	廃棄物の減量及び再資源化を促進し、ごみ問題に対する市民の意識の向上に資すること。			廃棄物の減量及び再資源化を促進され、ごみ問題に対する市民の意識の向上とごみ処理経費の削減につなげるもの。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・各団体で回収した資源物(紙類、繊維類)に対し、1kgにつき10円を助成 ・申請は3か月ごとで年4回			団体登録数 418団体 ・全体回収量 9,158,217kg ・全団体活動日数 10,557日 ・全団体参加人数 99,455人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・ごみ問題(特に再資源化)に対する意識の向上			廃棄物の再資源化に対する意識の向上が図られ、かつ実践されている。 団体によっては高齢化や人員不足等により、回収作業が困難となっている事例も見受けられている		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	団体登録数		指標・目標値の説明(算定式)	交付対象となる団体数					
	単位	件	指標の種別		結果	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	425.00			425.00		416.00	416.00	416.00	0.00
	実績値・達成状況	423.00	未達成		416.00	未達成	418.00	達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値	425.00			425.00		416.00	416.00	416.00	0.00
	実績値・達成状況	423.00	未達成		416.00	未達成	418.00	達成		

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	8 目	6 細目	3 細々目	資源回収団体助成事業		
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
予算額(A)		106,289		99,660		93,409		90,900		90,900
決算額(B)=(C)+(D)		103,793		95,584		91,583				
財源※		特定財源(C)	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源(D)	103,793	95,584	91,583	91,583	91,583	90,900	90,900	90,900
		概算人件費(E)	3,080	3,160	1,620	1,620	1,620	1,660	1,660	3,320
従事職員人件費(人)		常勤	0.40	0.40	0.20	0.20	0.20	0.40	0.40	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		106,873		98,744		93,203		92,560		94,220

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	回収団体の人員不足及び高齢化により、回収作業が困難となる事例が散見されるが、継続して地区内の回収が可能となるようNPO団体等の紹介をおこなっている。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	3R推進活動等助成事業				担当	環境部 リサイクルプラザ
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	228-5306	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-① 廃棄物の減量化・再資源化					
根拠法令等	川口市3R推進活動等助成金交付要綱					

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	<b>事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)</b>			
	町会・自治会(地方自治法(昭和22年法律第67号)第260条の2第1項に規定する地縁による団体のうち、市長が認めるもの)へ、地域住民が相互に協力して行う3R推進活動等に対して助成する。			
当該年度の実施内容及び成果	<b>①アクション(当該年度に何を実施したか)</b> 地域住民が相互に協力して行う3R推進活動(一般廃棄物の減量化、再使用及び再資源化の推進に資する活動)並びに一般廃棄物の適正処理の推進、集積所の整備及び美化、不法投棄の防止、地域環境の美化に資する活動に対して、助成を行った。助成額は、町会・自治会1団体に対して、加入世帯数×400円(千円未満は切捨て)			
	<b>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</b> 市内にある230町会・自治会から交付申請を受け、結果、全ての町会・自治会に対し助成金を交付した。また、全ての団体において、交付要件(要綱で定めた全15項目中、必須の3項目を含む7項目以上の実施)を満たす活動報告があった。			
	<b>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</b> 市民の廃棄物問題に対する意識の向上、循環型社会の構築及び地域コミュニティ意識の醸成を図ることができた。			
	<b>④踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</b> 助成金を活用し、町会・自治会ごとに各自の手法で工夫しながら廃棄物問題に対して積極的に活動しているが、循環型社会の構築については、まだ達成とは言えず、継続して取り組む必要がある。目標達成に向け、最前線で環境行政を支える町会・自治会の活動支援のため、引き続き助成を続けていく。			

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	交付団体数		指標・目標値の説明(算定式)	交付対象となる町会・自治会の団体数									
	単位	団体	指標の種別		結果	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
目標値		231.00			230.00		230.00	230.00	229.00	0.00				
実績値・達成状況	231.00	達成	230.00	達成	230.00	達成								
指標②	名称													
	単位			指標・目標値の説明(算定式)						令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値													
実績値・達成状況														

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	8 目	7 細目	1 細々目	3R推進活動等助成事業				
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度						
予算額(A)		66,776		66,198		65,711		67,457		67,457		
決算額(B)=(C)+(D)		66,776		65,955		65,711						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		0		
	一般財源(D)	66,776		65,955		65,711		67,457		67,457		
	概算人件費(E)	2,695		2,765		2,430		2,490		2,490		
従事職員人件費(人)	常勤	0.35	0.00	0.35	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		69,471		68,720		68,141		69,947		69,947		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	本事業を通じて、廃棄物問題に対する更なる市民の意識向上とごみの減量化・地域の環境美化への実効性を高めるため、3Rの推進について継続的に情報の発信・提供を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	産業廃棄物対策事業				担当	環境部 産業廃棄物対策課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5380	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度	~	年度	
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、使用済自動車の再資源化等に関する法律、川口市廃棄物処理施設の設置等の手続に関する条例、川口市土砂の堆積等の規制に関する条例			

### 2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
事業の概要			事業者等が産業廃棄物の適正処理及び、処理施設等の適正な維持管理を確保することで、市民生活の安心・安全の確保と良好な生活環境の保全を図る。
①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
・産業廃棄物処理業者等の許可申請等に関する審査 ・産業廃棄物処理施設等の適正な維持管理等の指導 ・土砂の堆積に係る許可申請等に関する審査 ・産業廃棄物等の不適正処理や土砂の堆積に関する立入検査			・処理業者等の許可申請等に関する審査 62件 ・自動車リサイクル法の許可業者等に関する審査 15件 ・処理施設等の維持管理等の指導 11件 ・土砂の堆積の許可申請等に関する審査 26件 ・立入検査 718件
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
・適正かつ迅速に産業廃棄物処理業等の許可申請等に対する審査を受けることができた。 ・産業廃棄物等の不適正処理の未然防止や住民との紛争予防、施設等の適正な維持管理を確保することにより生活環境に大きく影響を与える事案の発生を防止できた。 ・無秩序な土砂の堆積を防止することができた。			・市民生活の安心・安全の確保と良好な生活環境の保全を図るために、排出事業者等への立入検査を継続して実施している。 ・産業廃棄物の不適正処理事案で行為対象者が不明な場合には、指導できないのが課題である。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	立入検査実施件数		指標・目標値の説明(算定式)	産業廃棄物処理業者や土砂の堆積事案等に係る立ち入り検査の実施件数					
	単位	件	指標の種別		活動	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		540.00				540.00	540.00	540.00	540.00	540.00
実績値・達成状況		1,012.00	達成		777.00	達成	718.00	達成		
指標②	名称									
	単位	件	指標の種別	指標・目標値の説明(算定式)						
目標値					令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況										

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	3 目	1 細目	2 細々目	産業廃棄物対策事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		4,506	3,730	4,120	5,520	5,338		
決算額(B)=(C)+(D)		3,677	2,820	2,828				
財源※		特定財源(C)	1,072	644	1,046	366		
		一般財源(D)	2,605	2,176	1,782	5,154		
概算人件費(E)		42,735	45,267	51,759	43,243	43,243		
従事職員人件費(人)		常勤	再任用	5.73	0.00	6.39	0.00	5.21
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		46,412	48,087	54,587	48,763	48,581		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	十分行つた	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
58 /60	産業廃棄物処理法に基づく申請に先立ち、手続き条例に係る関係住民への周知等を事業計画者に適正に実施させることで、紛争防止に寄与する。また、産業廃棄物、土砂堆積に係る定期的な監視パトロールを実施することで、生活環境に大きく影響を与える事案の発生を防止する。		翌々年度 現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	PCB廃棄物調査指導事業				担当	環境部 産業廃棄物対策課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	048-228-5380	新規・継続	継続	

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	令和元年度	~	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進						
根拠法令等	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律						

### 2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	PCB廃棄物等を所有している事業者がPCB特措法の処分期限までに適正処理するために必要な措置を講ずるもの。		
当該年度の実施内容及び成果	<p><b>①アクション(当該年度に何を実施したか)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCB廃棄物等の保管状況の把握及び適正処理の指導を実施。</li> <li>・PCB廃棄物等をPCB特措法の処分期限までに適正処理を促進するため、ポスター・パンフレットを作成し周知啓発を図った。</li> </ul>		
	<p><b>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCB特措法に係る届出の受理 259件</li> <li>・PCB廃棄物保管事業者への立入検査及び適正処理の指導 174件</li> <li>・啓発用ポスターを作成し市内掲示板に掲示 1,000箇所</li> <li>・啓発用パンフレットを作成し事業者団体等に配布 10,705部</li> </ul>		
	<p><b>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCB廃棄物等の保有者を把握し指導したことで、PCB廃棄物等の適正処理が推進された。</li> <li>・PCB廃棄物等の期限内適正処理について広く周知啓発したところ、新たなPCB廃棄物保有者の把握に繋がった。</li> </ul>		
	<p><b>④～⑤を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</b></p> <p>低濃度PCB廃棄物等の処分期限である令和9年3月31日までに適正処理するよう、引き続き周知啓発等を実施していく。</p>		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	PCB廃棄物所有状況調査の進捗(新規把握)		指標・目標値の説明(算定式)	PCB廃棄物の所有が疑われる事業者のうち、新規把握の事業者(事業場)の件数			
	単位	件	指標の種別		成果			
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②		0.00			0.00	10.00	5.00	
	実績値・達成状況	0.00	達成		0.00	達成	19.00	
	名称							
指標②	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

### 4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	3 目	1 細目	4 細々目	PCB廃棄物調査指導事業
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		4,353		1,225		403		363
決算額(B)=(C)+(D)		3,146		1,075		340		100
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0
	一般財源(D)	3,146		1,075		340		363
概算人件費(E)		15,785		14,378		8,181		10,707
従事職員人件費(人)	常勤	2.05	0.00	1.82	0.00	1.01	0.00	1.29
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		18,931		15,453		8,521		11,070
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。								

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	十分行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	高濃度PCB廃棄物の処分期限が経過していることから、新たに所有者を把握した際には適時対応する。また、低濃度PCB廃棄物等の期限内処分を図るため、立入検査等により効率的かつ積極的に処理責任者に処理を促していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	車両経費				担当	環境部 収集業務課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 23 年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画			

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
事業の概要		直営の車両に係る管理、運営事業	
		収集体制の確保と維持	
当該年度の実施内容及び成果		①アクション(当該年度に何を実施したか)	
廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が循環して利用される都市の形成を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
		一般ごみ、資源物に係る収集運搬に用いる車両の購入準備、車検及び点検整備等を実施した。	
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
当該事業は公共性が高く、適正な業務の施行には安定かつ継続的な収集体制の確保と維持が必要不可欠であり、廃棄物の収集を円滑、効率よく安全に行うために、車検及び点検整備等を実施した。		市民全体を対象としている事業のため、公平性に関しては適正である。	

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	塵芥車等の買替台数	指標・目標値の説明(算定式)	塵芥車買替計画に基づく買替台数(令和2年度～6年度該当なし)					
	単位	台		指標の種別	活動				
	目標値			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況			0.00	0.00	0.00	7.00	0.00	
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位			指標の種別					
	目標値			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況								

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	3 細目	1 細々目	車両経費		
年度		令和4年度			令和5年度		令和6年度			
予算額(A)			50,264	66,936			71,804	139,859		
決算額(B)=(C)+(D)			50,263	57,987			63,431	139,859		
財源※	特定財源(C)	480			480	480				
	一般財源(D)	49,783			57,507	62,951				
概算人件費(E)			3,465	3,555			3,645	3,735		
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00		
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			53,728	61,542			67,076	143,594		
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。										

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 /60	平成23年度から塵芥車買替計画に基づき車両の入替を行っている。環境や安全に配慮した車両を導入していくほか、災害等に適正な運用ができるよう燃料区分のバランスを考慮しながら入替を行っている。令和元年度で買替計画が終了し、令和7年度から第二次塵芥車買替計画を開始した。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	小動物死体収集運搬事業			担当	環境部 収集業務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	251-1174	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度		
第5次川口市総合計画	IV	都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則、関連計画					

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
市民や通行者から、道路上等にある小動物の死体の通報を受付するとともに、収集運搬を行う。			生活環境の保全及び公衆衛生の向上
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
	廃棄物を適正に処理し、地域の清潔を保持することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。		一般廃棄物処理実施計画に基づき、市内から寄せられる通報や連絡を受け、小動物の死体を収集し、中間処理施設へ運搬する。
当該年度の実施内容及び成果	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	犬・猫等の小動物死体収集をした。		速やかに対応し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与した。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							
指標②	名称							
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	4 目	4 細目	3 細々目	小動物死体収集運搬事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		9,283		9,000		9,345		9,338
決算額(B)=(C)+(D)		7,540		8,057		7,927		9,338
財源※	特定財源(C)	245		230		235		232
	一般財源(D)	7,295		7,827		7,692		9,106
	概算人件費(E)	1,540		1,580		1,620		1,660
従事職員人件費(人)	常勤	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		9,080		9,637		9,547		10,998

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	道路上など公共施設からの収集に関する案件の他、庭先など私有地からの収集に関する案件が増えており、事前の聞き取りや十分な説明を行うことで市民ニーズに対応していく。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	厚生会館施設管理費				担当	環境部 戸塚環境センター
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 52 年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進			
根拠法令等	川口市厚生会館設置及び管理条例			

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	戸塚環境センター周辺住民の健康保持と福祉の増進に寄与することを目的に設置された厚生会館の管理運営を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <p>利用者が快適に施設を利用できるよう浴室やトイレ等の修繕を行った。 自動販売機が撤去されたため、保健所の助言を受け、利用者に対し冷水の提供を行った。 浴室が狭隘であること、利用者の体調管理の点から午前・午後の入替制で運営した。</p>		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <p>6年度の開館日数は271日であった。年間利用者数は13,145人、1日当たりの利用者数は48.5人、利用料合計額は1,212,700円であった。利用料は大人220円、60歳以上は100円、小人100円である。開館日時は月曜祝日を除き、午前10時から午後5時までである。</p>		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>6年度の利用者数は前年度と比べて329人減少となったが、1日の利用者数は48.5人と前年度48.6人とほぼ同数であった。利用者のほとんどが高齢者であることを考慮すると、1日の利用者数が変わらないことから、健康保持には役立っていたと考える。なお、利用料合計額は前年度19,540円増の1,212,700円であった。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>開館から約50年経っていることから老朽化が著しい。設備の故障で開館停止とならないよう補修、修繕を実施し、通常の開館を行えた。サービスが低下しないよう館内の清掃を徹底し、利用者の減少を防ぐことができた。</p>		

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数(厚生会館)	指標・目標値の説明(算定式)	実績による入館者数を目標値とするもの。						
	単位	人		指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況	8,000.00		8,000.00		8,000.00	8,000.00	8,000.00		
指標②	名称									
	単位			指標・目標値の説明(算定式)						
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度		
	実績値・達成状況	12,114.00			達成	13,474.00	達成	13,145.00		

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	7 目	2 細目	2 細々目	厚生会館施設管理費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		17,228	22,477	22,757	22,140	22,140		
決算額(B)=(C)+(D)		15,740	19,537	18,069				
財源※	特定財源(C)	1,053	1,193	1,212	1,191			
	一般財源(D)	14,687	18,344	16,857	20,949			
概算人件費(E)		1,925	1,975	2,430	2,490	2,490		
従事職員人件数(人)	常勤 再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		17,665	21,512	20,499	24,630	24,630		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
50 /60	施設が老朽化しているため、戸塚環境センター東棟の建替に伴って、新しい地域住民還元施設が出来るまで修繕しながら使用していく必要がある。		翌々年度 現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	戸塚環境センタープラント運営費				担当	環境部 戸塚環境センター
事業区分	通常事業	−	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 51 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則					

### 2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
市内の家庭や事業者から排出される一般廃棄物を安定的かつ適正に処理することを目的とする。			廃棄物を公衆衛生や生活環境に支障が生じないように処理する。
当該年度の実施内容及び成果		①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)
①アクション(当該年度に何を実施したか)	ごみ焼却施設・破碎機設備の適正な運転管理。	計画通りに点検整備を実施し、適正に運転管理することができた。	
②アウトプット(①を実施した結果・実績)	ごみ焼却施設・破碎機設備の適正な点検整備。		
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	安全かつ安定的に施設を運転し、停滯させることなく適正にごみを焼却・破碎処理することができた。	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	公衆衛生や生活環境に支障が生じないよう安定的にごみ処理をすることができた。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ごみ処理量	指標・目標値の説明(算定式)	ごみ焼却量の実績のみ(朝日環境センターとごみ焼却を補完し合っているため、ごみ焼却量の目標値設定は不可能)
	単位	トン		
	目標値	令和4年度		
	実績値・達成状況	54,639.78	−	
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位			
	目標値	令和4年度		令和6年度
	実績値・達成状況	54,425.79	−	54,347.43

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	7 目	4 細目	1 細々目	戸塚環境センタープラント運営費
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		995,548	1,192,942		1,178,188		1,233,556	
決算額(B)=(C)+(D)		986,474	1,120,208		1,132,686			
財源※	特定財源(C)	687,438	413,173		439,624		627,200	
	一般財源(D)	299,036	707,035		693,062		606,356	
概算人件費(E)		133,749	136,196		139,806		142,926	
従事職員人件費(人)	常勤	17.37	0.00	17.24	0.00	17.26	0.00	17.22
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		1,120,223	1,256,404		1,272,492		1,376,482	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	焼却施設は運転開始から30年以上が経過し、設備の老朽化が激しい。優先順位をつけ、適正に補修を行っていく必要がある。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	戸塚環境センターごみ処理事業				担当	環境部 戸塚環境センター
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-0131	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 51 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進					
根拠法令等	川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
市民生活や事業活動に伴い発生する一般廃棄物を中間処理する際に排出された残渣物を、溝りなく再資源化及び最終処分を行うことで、市内で発生した廃棄物を適正に処理できる体制を整備し川口市の環境衛生を維持する。			循環型社会を維持するために埋立による最終処分を削減し、再資源化量及び再資源化率を向上させることで長期的かつ継続的に廃棄物を適正に処理できる体制を整備し、川口市の環境衛生を維持する。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
焼却及び破碎による中間処理後の残渣物を再資源化及び最終処分できる体制の維持 再資源化施設及び最終処分場の法定確認による適正処理の監視 関係自治体との事前協議による関係の構築 継続的な収集車の受け入れを維持			戸塚環境センターごみ処分委託料280,034,437円 戸塚環境センター再資源化量4,343.98トン 戸塚環境センター再資源化率52.04% 受け入れ停止日0日(年末年始、休日を除く) ※すべて朝日環境センター火災の影響を受けての数値
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
朝日環境センター火災の影響により、再資源化率の低下 川口市内で発生した廃棄物を適正に処理できる体制の維持 川口市の環境衛生を維持			朝日環境センター火災の影響により再資源化量及び再資源化率は減少したが、関係各所と調整し適正処理を続け、市内の環境衛生の維持は達成できた。一方、最終処分場の容量は有限で、安定的な廃棄物処理の維持のために再資源化率の向上と新しい最終処分場の検討が必要。また、再資源化は最終処分と比較してコスト削減が難しい点が課題。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	焼却灰・残渣金属の再資源化推進		指標・目標値の説明(算定式)	再資源化量の実績のみ(朝日環境センターとごみ焼却を補完し合っているため、再資源化の目標値設定は不可能)			
	単位	トン	指標の種別		活動			
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況	設定なし			設定なし	設定なし	設定なし	
指標②	名称							
	単位			指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況				設定なし	設定なし	設定なし	

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	2 項	7 目	6 細目	1 細々目	戸塚環境センターごみ処理事業
年度			令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)			272,401	263,938		289,582		419,748	
決算額(B)=(C)+(D)			230,871	222,554		282,595		342,181	
財源※	特定財源(C)		3,101	2,694		2,746		2,680	
	一般財源(D)		227,770	219,860		279,849		417,068	
概算人件費(E)			8,239	7,505		7,776		7,968	
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.07	0.00	0.95	0.00	0.96	0.00	0.96
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			239,110	230,059		290,371		427,716	
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。									

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性		
54 /60	人件費、物価高騰等の影響により、特に再資源化処理施設における処理単価の値上げが顕著である。循環型社会の維持を目標として、再資源化処理施設での処理量を増やすか、コスト削減を目標として最終処分施設での埋立を増やすか、方針の策定が必要	翌年度	現状維持で実施	翌々年度	現状維持で実施		

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	朝日環境センターごみ処理事業			担当	環境部 朝日環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5300	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進							
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則							

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
市内の家庭や事業者から排出される廃棄物を公衆衛生や生活環境の保全上支障が生じないよう適切に運搬及び処理することを目的とする			ごみ焼却施設から搬出される資源物の適正な運搬及び焼却灰等の安定的な運搬・処分
①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
家庭系廃棄物を焼却し、施設から搬出された資源物の運搬及び焼却灰等を適正に運搬した			溶融スラグ資源物運搬 4,617.35t ・固化ばいじん等運搬及び処分 3,203.83t ・溶融飛灰運搬及び溶融資源化処理 99.73t
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
適正に売却及び処分をすることことができた			資源物を有価物として売却するにあたり、利用先が遠方の場合、運搬費を市が負担しなければ、安定的な利用先の確保が困難な状況である。今後は公共工事での利用拡大を図り、運搬費の削減に努める必要がある。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況								
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況								

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	7 目	6 細目	2 細々目	朝日環境センターごみ処理事業
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)			213,525	212,332		218,323	111,324	
決算額(B)=(C)+(D)			193,549	189,634		158,010	111,324	
財源※	特定財源(C)		0	7,122		7,122	53,647	
	一般財源(D)		193,549	182,512		150,888	57,677	
概算人件費(E)			3,850	3,950		4,050	4,150	
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			197,399	193,584		162,060	115,474	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	最終処分場を有しない本市においては、他区域における処分場の確保が大きな課題であるが、各処分場の残余期間等当面の問題はなく、引き続き安定的な最終処分の実施に努めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	朝日環境センタープラント運営費			担当	環境部 朝日環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5300	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度		
第5次川口市総合計画	IV	都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・同施行規則					

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
市内の家庭や事業者から排出される廃棄物を公衆衛生や生活環境の保全上支障が生じないよう適切に処理することを目的とする			廃棄物を安定的かつ適正に処理するため、ごみ焼却施設の適正な運転管理及び保守管理を行う
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
プラント施設の適正な運営管理及び廃棄物の安定的な処理			ごみ焼却施設の適正な運転及びごみ焼却施設の適正な点検整備(令和6年度ごみ焼却処分実績:64,679.13t)
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
適正な管理運営により適正に処分をすることができた			プラント施設の維持管理をより計画的かつ効率的に実施していく必要がある。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況							

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	4 款	2 項	7 目	9 細目	1 細々目	朝日環境センタープラント運営費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		1,582,194	1,783,596	2,501,720	2,344,313	2,344,313		
決算額(B)=(C)+(D)		1,542,090	1,728,556	990,758				
財源※	特定財源(C)	720,592	707,087	625,560	544,759			
	一般財源(D)	821,498	1,021,469	365,198	1,799,554			
	概算人件費(E)	17,710	18,170	18,630	19,090	19,090		
従事職員人數(人)	常勤	2.30	0.00	2.30	0.00	2.30	0.00	2.30
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		1,559,800	1,746,726	1,009,388	2,363,403	2,363,403		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	稼働開始から22年を経過したことから各設備の劣化が激しく、大規模改修工事までの間も相当の補修費がかかる見込みであるが、本事業で実施する日常の適正な運営管理と適切な定期点検整備により、コストを最小限にとどめる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業			担当	環境部 鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度		
第5次川口市総合計画	IV	都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3	廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-②	廃棄物の適正処理の推進		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則					

### 2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
家庭から排出される粗大ごみの受理。			粗大ごみの適正な処理及び分別による資源物の有効利用並びに不法投棄の抑制による街の美化。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
粗大ごみを受理し、資源物の分別や廃棄物の適正な処理を行った。			粗大ごみの受理 1,038,140kg
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
受理した廃棄物から再資源化できるものを分別し、残ったものは戸塚環境センターへ運搬し適正に処理した。 分別後に売却した資源物 188,400kg			粗大ごみの搬入を事前予約制にして2年目となり、より安全でスムーズに廃棄物の適正処理及び再資源化が推進された。しかし、河川や道路などへの廃棄物の不法投棄は後を絶たないため、引き続き適正処理を推進していく必要がある。

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	資源物(鉄、アルミ、小型家電)の売却	指標・目標値の説明(算定式)	粗大ごみから分別した資源物を市内の専門業者に売却し、売上げ金を市政の財源に充てる。 目標値…該当年度の歳入予算額						
	単位	金額(円)以上		指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況	1,102,000.00		1,067,000.00		508,000.00	648,000.00	0.00		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位									
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度		
	実績値・達成状況									

### 4 年度別事業費(単位:千円)

	予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	7 目	6 細目	3 細々目	鳩ヶ谷衛生センターごみ処理事業
	年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度
	予算額(A)	42,477	43,542		42,256		42,124	42,124
	決算額(B)=(C)+(D)	41,796	42,854		41,994			
財源※	特定財源(C)	1,033	424		1,235		648	
	一般財源(D)	40,763	42,430		40,759		41,476	
	概算人件費(E)	29,426	29,402		30,678		30,705	30,705
	従事職員人件費(人) 常勤 再任用	2.38	3.00	1.38	5.00	1.38	5.00	1.35 5.00
	総事業費[(A)又は(B)+(E)]	71,222	72,256		72,672		72,829	72,829

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	十分行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	粗大ごみの搬入を事前予約制にしたことで来場者数をコントロールできるようになり、周辺道路での渋滞が発生しなくなった。事前予約制も市民に定着してきており、計画的なごみの廃棄やごみの減量化が図られている。今後は来場者数の推移を注視しながら、それに見合った委託料となるようにコスト削減に取り組む。	翌年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	し尿収集事業			担当	環境部 鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進								
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則								

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち義務的なもの			実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	汲取り式のトイレを使用する世帯等から、し尿を適正に収集及び運搬することにより、生活環境や公衆衛生を保全する。				し尿の適正な収集運搬による公衆衛生の保全と街の美化。	
当該年度の実施内容及び成果	<p><b>①アクション(当該年度に何を実施したか)</b> 鳩ヶ谷地区におけるし尿の収集運搬を業務委託により実施した。また、鳩ヶ谷地区以外については、市から許可を受けた業者が各家庭と契約し収集運搬を行っているが、市民負担の軽減と業者支援を図るため助成金を交付した。</p> <p><b>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</b> 鳩ヶ谷地区の汲取り世帯から適正にし尿を収集し、生活環境や公衆衛生を保全した。 し尿収集運搬手数料を受益者から収納し、事業の財源とした。 鳩ヶ谷地区以外のし尿を収集する許可業者に対して助成金を交付することにより、市民負担の軽減と業者支援を図った。</p>				<b>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</b> 鳩ヶ谷地区のし尿収集運搬量 338kℓ(129世帯) し尿収集運搬手数料収納額 1,305,480円 許可業者へのし尿処理事業助成金交付額 4,220,460円	
					<b>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</b> 汲取り世帯のし尿について、安定して適正に収集、運搬及び処分を実施し公衆衛生等を保全した。汲取り世帯は減少の一途をたどっているが、市は一般廃棄物の処理責任を負っているため、最後の一世帯まで安定的な事業継続を図る。	

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	し尿収集運搬手数料の納付額		指標・目標値の説明(算定式)	該当年度のし尿収集運搬手数料の歳入予算額(滞納繰越分を含む)に対して90%以上の納付を目指す。		
	単位	円以上	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
		1,459,800.00			1,072,800.00	936,900.00	0.00
	実績値・達成状況	1,781,590.00	達成	1,483,240.00	達成	1,305,480.00	達成
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)			
	単位						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況						

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	4 款	2 項	9 目	3 細目	1 紹々目	し尿収集事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			15,234	14,718	14,320	14,228	14,228		
決算額(B)=(C)+(D)			14,707	14,267	13,974				
財源※			特定財源(C)	1,782	1,484	1,305	1,041		
			一般財源(D)	12,925	12,783	12,669	13,187		
			概算人件費(E)	6,237	6,399	6,561	7,055	6,723	
			従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.81	0.00	0.81	0.00
						0.85	0.00	0.85	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			20,944	20,666	20,535	21,283	20,951		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
52 /60	トイレの水洗化が進み汲取り世帯は市内世帯のうち0.3%に低下しているが、法により市は処理責任を負っており、業者か直営による収集を継続する必要がある。災害時には避難所に多くの仮設トイレが設置され、収集体制も維持する必要がある。今後費用対効果が低下するなかで法的責任を果たすため安定的に継続して事業を実施する。	翌々年度	現状維持で実施

## 実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	し尿処理施設管理費				担当	環境部 鳩ヶ谷衛生センター	
事業区分			-	問い合わせ先	281-5043	新規・継続	継続

### 1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度								
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-3 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進-② 廃棄物の適正処理の推進										
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、同施行規則										

### 2 事業概要

事業分類	自治事務のうち義務的なもの			実施形態	一部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)									
	収集されたし尿及び浄化槽汚泥をし尿処理施設で受け入れて、適正に中間処理することにより、環境への負荷を削減して生活環境や公衆衛生を保全する。									
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)					
	安定的にし尿処理施設を運営し、し尿等を滞りなく受け入れた。また、臭気、水質、騒音等、周辺環境への悪影響を極力抑えて処理を行った。さらに、処理の工程で発生した脱水汚泥は、肥料等への再資源化を図り環境への負荷を削減した。				し尿等の搬入量 33,875キロリットル 再資源化業者への搬出量 787トン 放流水等の環境測定結果は、全て法定基準値内で適正。					
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題					
	搬入されたし尿等は、高度に浄化した処理水を新芝川に放流し、残った固形物である脱水汚泥を再資源化業者へ搬出し堆肥等に利用された。				市内唯一のし尿処理施設であるため、事故等による受入停止を生じることなく安定して適正に中間処理を実施できた。施設のリニューアルから15年以上経過していることから、設備、機器の経年劣化による不具合が発生しないよう計画的に整備、改修していく必要がある。					

### 3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	脱水汚泥の含水率(年間平均)		指標・目標値の説明(算定式)	廃棄物として排出する量を減らすため、また再資源化に適した状態にするため、脱水汚泥の含水率(年間平均)75%以下を目指す。		
	単位	%以下	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度			令和6年度		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別					
	目標値	令和4年度			令和6年度		
	実績値・達成状況	75.90	未達成	73.70	達成	75.30	未達成

### 4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	9 目	2 細目	2 細々目	し尿処理施設管理費
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)	208,275		212,501		223,291		231,952	
決算額(B)=(C)+(D)	201,906		211,041		219,543			
財源※	特定財源(C)		165	123	181	159		
	一般財源(D)		201,741	210,918	219,362	231,793		
	概算人件費(E)		13,244	13,588	13,932	13,944	13,944	
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	1.72	0.00	1.72	0.00	1.68	0.00
総事業費【(A)又は(B)+(E)】	215,150		224,629		233,475		245,896	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

### 5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	13 /15
	業務プロセス改善		検討した			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行った			対象者への周知		行った	

### 6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性			
54 /60	施設のリニューアル工事から10年以上が経過し、機器の経年劣化による不具合が懸念される。計画的に機器の点検整備を行うとともに、改修工事が必要なものについては、し尿処理施設改修事業で計画的に整備を進め、故障や事故による搬入停止等を未然に防ぐ。				翌年度		現状維持で実施	